

サンタのおばさん

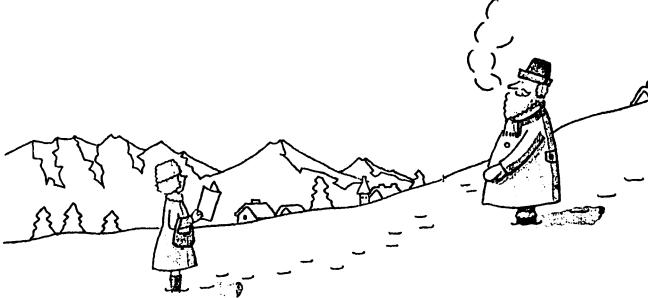
～違いをみとめあって生きる～ (人としての価値を大切に)

ねらい

『サンタのおばさん』は、「女は・・・、男は・・・」の枠よりも、人としての価値のほうが大切であることや、肌の色、男女などの不必要な差別をのりこえ、認め合って生きていくことの大切さを、ほのぼのとしたクリスマス・ストーリーをとおして気づかせていくことのできる絵本である。

コミカルな展開を楽しみながら、ジェンダーの問題をはじめとした、人権にかかわるいろいろな問題を子どもたちといっしょに考えていきたい。

あすめ方

活動の流れ	支援や留意点
<p>1. 今日は『サンタの〇〇〇〇』というお話だよ。 サンタといえばどんなものが思うかぶかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おひげ ・クリスマス ・おじいさん ・赤いふく ・プレゼント ・トナカイ <p>2. 『サンタの〇〇〇〇』のお話を紹介するよ。</p> 	<p>思いうかんだことをプリントに書いたり、何人かに聞いたりしながら、「どんなお話かな」という興味をふくらませたい。</p> <p>前半部分を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に《アフリカサンタの選出にあたってのトラブル》の部分と《サンタのイメージの基本ライン》の部分は、きちんと子どもたちに伝わるようにする。 ・絵本ではP27まで。学年に応じて、必要な部分を選んで読んだり、あらすじを紹介するなど工夫するとよい。実物投影機で挿絵をうつすといい。 <p>自由にいろいろな視点から話をさせたい。</p>
<p>3. ジェシカは『サンタのおばさん』になれるかな。 ☆なれないよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女人人は力がないから。 ・ひげがないから。 ・サンタは男の役目だから。 <p>☆なれるよ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカサンタもなれたから、だいじょうぶ。 ・「女はダメ」という条件はなかったよ。 ・やさしい人ならなれると思う。 ・がんばればきっとできるよ。 <p>4. 後半のお話はこうだよ。</p>	後半部分を紹介する。
<p>5. お話を聞いてどう思ったかな。 ふりかえりをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「女性のサンタでもいい」と言った人はいい人だな。 ・すてきなお話だったよ。 ・ジェシカはやさしい人だなあ。 <p>6 『サンタのおばさん』の絵をかこう。</p>	<p>自分の考え方と違っていた子ども、楽しい気分でお話をふりかえることができるような声かけをしたい。ほのぼのとした雰囲気の中で、さりげなく、いろいろな差別について考えることができるように時間にしたい。</p>

出典

- ・『自分を生きる21』(大阪府人権教育研究協議会編)より『サンタのおばさん』
- ・絵本『サンタのおばさん』(東野圭吾：作 杉田比呂美：画 文藝春秋)

「このお話をどう思う？」子どもたちに問い合わせみてください。

絵本 『サンタのおばさん』

～男と女ってそんなに遠くて違う生き物なのかな～

東野圭吾：作 杉田比呂美：画 文藝春秋

このお話は、クリスマス前に世界中のサンタが集って話し合うサンタクロース会議を舞台にしています。会議では、ジェシカという女性がアメリカ・サンタになることをめぐり、サンタが白人でなければならないのか、ひげがないといけないのか、女性ではいけないのかといった議論がもたれます。コミカルな展開を楽しみながら、子どもたちと一緒に、ジェンダーの問題をはじめ、ひろく人権の問題を考えることのできる楽しいクリスマス絵本です。

<あらすじ>

フィンランドのある小さな村。イタリア支部のサンタは、年に一度のサンタ会議に遅刻しそうなので汗だくで走っていました。途中で小太りの女性にサンタ協会への道をたずねられました。「新しい事務員さんかな？」と思って案内するが、建物に着くと彼女の姿はありませんでした。

サンタ会議は、アメリカ・ドイツ・イギリス・フランス・日本・アフリカ・オセニア・イタリア・オランダ・カナダ・ベルギー・フィンランドの合計12地域のサンタが集まっておこなわれます。会長はアメリカ・サンタだが、今日で引退です。彼に代わるアメリカ支部のサンタの選出もしなければなりません。アフリカ支部のサンタが、選出に際して「肌の色が原因で、サンタとしての承認手続きが手間取った」と感じたと話し、論議になります。

ドアが開き、新サンタ候補が入ってきました。その候補を見たイタリア・サンタはひっくり返ります。なぜなら、さっき道をたずねた小太りの女性が立っていたからです。彼女が、次期アメリカ支部のサンタ候補「ジェシカ」だったのです。ここから史上初・世界初の女性サンタの是非を巡って大議論になります。

ドイツ・サンタは「赤い服に白いヒゲ、白い眉毛が標準で、例外は認められたことがない」と主張します。しかし、オセニア・サンタは「私は暑いからアロハを着てサンタをやっているよ」と言い、また、アフリカ・サンタは「うちでは、赤は動物に狙われて危険なので、緑の服でいいことになっている」と言います。

議論が白熱し、あわや掴み合いのケンカが始まりそうになった時、『アヴェ・マリア』の歌声が聞こえました。その見事なソプラノはジェシカでした。そして、彼女は自分の焼いたクッキーを出して、イタリア・サンタと一緒に紅茶を準備します。

イギリス・サンタがジェシカに、サンタに応募した理由をたずねました。すると、息子のトミーが推薦したのだと言います。トミーの父は彼が二歳の時事故死したのですが、ジェシカが「サンタは男の人しかできないのよ」と説明すると、「ママはパパの分まで僕を愛してくれているんじゃなかったの、そう約束したじゃないか」と、珍しく怒った顔をして言ったのだそうです。その場にいたサンタたちは、みんなうなづいていました。

クリスマス・イブの夜、ジェシカは大忙しでした。ついにアメリカ・サンタとしての初仕事です。三頭のトナカイにひかれたそりに乗り、ジェシカは天空をかけていきました。

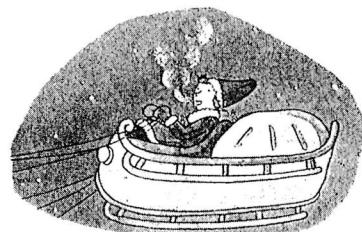
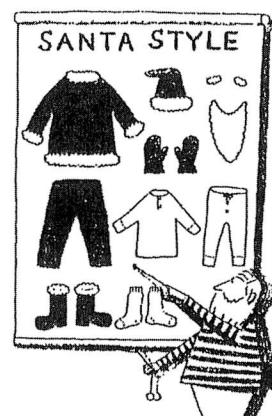
『自分を生きる21』(大阪府人権教育研究協議会編)より『サンタのおばさん』

※いわゆる「サンタクロース」のスタイルを否定するものではありません。絵本の持つユーモア・楽しさを大切にしてすすめましょう。

※実物投影機を使って、絵本の挿し絵をうつしながらお話を進めるのも楽しいです。

※いわゆる「子ども向けの絵本」とは言えないかもしれません。大人むけの表現や内容の部分もあります。が、とてもほのぼのとした、やさしいお話です。子どもむけにアレンジして紹介する方が、大切なことが伝わりやすいかもしれません。本文を読むかあらすじを紹介するかは時間や学年にはじて工夫してください。本文を読む場合も、全文を読むのではなく必要な部分を選んで読んだり、子どものわかりやすい言葉に直して読むなどすると、よいようです。

※本文では、27ページまでを前半部分として紹介するといいでしよう。



実践例

4年生で、こんなプリントを使ってやってみました。

サンタの おばさん



★サンタといえば・・・?
赤い服に、赤いぼうし、黒のブーツに、白い長いひげ、
白いふくろを持って、トナカイに乗っているおじいさんの
イメージです。



★ジェシカは「サンタの〇〇〇〇」になれるかな?(じぶんの考えをかこう。)

①アフリカサンタの時は、色が黒いからせいかれなかったけど、最後には、ジェシカもアフリカサンタと同じように、せいかれるんじゃないかなーと思ひます。

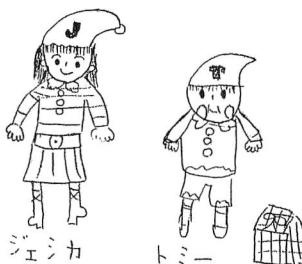
②みんなさんせいしないかもしだれないけど、動きがぶりでさんせいされるかもしだれないんじゃないかなーと思ひます。

★「サンタの〇〇〇〇」のお話をきいて、こうおもったよ。

サンタになれてよかったですなーと思いました。みんなの力があってできましたなーと思いました。ジェシカにとって最高のクリスマスになつたなーと思いました。

他のサンタがワイワイやって
さわいでいる時、なだめ
られてすごい力があるんだ
と思ひました。

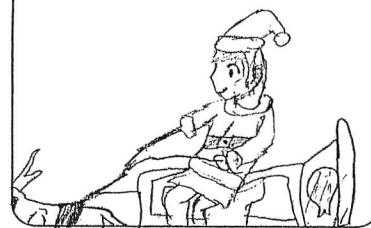
★「サンタの〇〇〇〇」の絵をかこう!



4年 3組 ()

《お話を聞いて描いた
「サンタのおばさん」》

★「サンタの〇〇〇〇」の絵をかこう!



《子どもたちのふりかえり》

★サンタのおばさんは、寒いアラスカから先にプレゼントを配ったからやさしいと思いました。

★子どもを思う気持ちは男も女も関係ないから、サンタになれてよかったですなと思いました。すてきなお話でした。

★いろいろな国はいろいろな都合でいろいろな服装もあるんだなと思いました。「女性のサンタでもいい。」と言った人はいい人だな。

★「女性はひげをはやってなくてもいい。」というルールを作った人は心が広い人だなあと思った。最後に、ジェシカが結婚できてよかったです。

★とてもいいお話でした。きまりは「これから新しいきまり」と考えれば、すんなりと考えられたかもしれない。

★会議があってすごかった。こんなサンタのお話があるなんてびっくりした。自分の考えた(予想した)ことを越えたようなストーリーでした。

★ジェシカは子どものためはどうしてもサンタになろうとしたりから、やさしいお母さんだなーと思った。

参考

身の回りには、いろいろなネタがありますよ!

子どもたちとこんな詩を楽しんでみては…『サンタクロースさま』(朝日新聞より)

社会に所収
へ『壁にぐーんと手をのばせ』(理論)
(文・市河紀子)

曹いた手紙のよくな時。つぎつぎと生まれる繊細な問い合わせは、ふだん私たちがあたりまえと感っていることに、そつと光をあてる。保育者の経験もある作者は子どもの歌の時を多く書いている。

サンタになりたい女の子がなぜなく
わざわざ手紙のよくな時。つぎつぎと生まれ
る繊細な問い合わせは、ふだん私たちがあ
たりまえと感っていることに、そつと光を
あてる。保育者の経験もある作者は
子どもの歌の時を多く書いている。

わたしは
ひげがほえて
りない

サンタクロースになるためにには
おとこじやなくつちゃ
おとなじやなくつちゃ
ひげがなくつちゃ
ひげがなくつちゃ

サンタクロースに
なりたいです
わたしもいつか
サンタクロースに
なりたいです
わたしもいつか

サンタクロースさま
まいとし
さてきなプレゼントあらがとう
サンタクロースに
なりたいです
わたしもいつか

サンタクロースさま
新潟どしほ
きよつの詩、なあに

子どもたちとこんな絵本を楽しんでみては…『ジェンダー・フリーの絵本』(大月書店)

それってへんだよ、女の子



①『こんなのがんか』
より

おかしいと気づいたら

「恋の河原」といわれた恋南がありました。その恋南、女子学生の就職先は、男子学生にくべてでも少なく、働く場所がほとんどありませんでした。女性は結婚したり、出産をすると仕事をやめたり休んだりするという風で、男性よりも仕事につきにくいのです。「私たちって働きたい」と、「就職難に泣き寝入りしない女子学生の会」によると、就職選別対策デモがおこりました。



今から100年くらい前の1868年5月1日に、アメリカの労働者たちは、1日に働く時間を8時間にするなどを要求しました。これを記念して、毎年5月1日のメーデーには、労働者が働く権利を守るために集まって、行進などをして示します。

多くの人はいろいろな場所があります。商店や飲食を行っている人、自分でお店や会社を経営している人、自分の工場で家族といっしょに働いている人、雇われて働いている人、さまざまです。雇われて働いている人には、労働組合(ユニオン)がつくって、労働組合(ユニオン)につく、働く条件をよくしたり、賃金を上げるために交渉を行うことが、法律で認められています。パートで働く女性たち

は、「パートニオン」という名前の労働組合をつくりました。部長や課長だけでは

なく、たった1人でも

「管理職ユニオン」や、ダンプカ

ーの運輸手さんたちの労働組合もあります。

女性だけでつくった労働組合では、男女の差別をなくす活動

をしています。

③『働くってたのしい』
より

子どもむけの、わかりやすい絵本です。「女らしく・男らしく」ではなく「自分らしく」生きることを学べます。

(全6巻)

①こんなのがんか

なぜ? どうして? だれが始めたの?
身近なことからジェンダーをさぐる

②生きるってすてき

家庭、地域、子ども、お年寄り、
生きることと結びつけてジェンダーを考える

③働くってたのしい

大人になったらどんな仕事に就く?
働くこととジェンダーの問題を考える

④女と男 これまで、これから歴史の中で女と男の関係はどう変わっていったのか。古代から現代へ

⑤いろんな国、いろんな生き方

国によってジェンダーの問題は違うの?

インタビュー形式でさぐる

⑥学びのガイド

資料・用語解説から授業実践まで、調べ学習と活用のための手引き